

NO 2028 レジメン名 寛解後療法2コース目 (DNR+Ara-C)

病棟 患者番号 氏名	癌種	ステージ	PS	クール数	指示医師名
年齢	身長	体重	体表面積	GFR(血清クレアチニン値)	
歳	cm	kg	m <sup>2</sup>	ml/min (mg/dl)	

【適応がん種】急性骨髄性白血病	CCr補正	GOT補正	T-Bil補正	【病状】 1 全て説明している 2 病名は説明しているが、詳しい病状については説明していない 3 未告知である 【治療】 1 抗癌剤による治療・予防と説明 2 抗癌剤とは言わず治療薬と説明 3 抗癌剤とは言わず予防薬と説明 4 薬に関しては説明していない 平成20年8月18日 登録
1・ダウノルビシン 50 mg/m <sup>2</sup> DAY1・2・3	-	-	-	
2・Ara-C 200 mg/m <sup>2</sup> DAY1・2・3・4・5	-	-	-	
原則28日1クール	WBC基準	HGB基準	PLT基準	
	Ne基準			

NO	薬品1	規格	本数	薬品2(規格本数)	時間・投与法
①	アロキシバック		1 本		15分で点滴 (Day1のみ)
②	キロサイド( )mg	200 mg 20 mg	本 本	5%ブドウ糖500mL	①終了後～ 主:24時間×5日間
③	デキサメタゾン	6.6mg	1 本	★生食50mL	②キロサイド更新時 側;15分で点滴
④	ダウノルビシン( )mg	20mg	本	生食100mL	③終了後～ 側;30分で点滴
⑤	生食50mL		1 本		④ダウノルビシン終了後～ 側;全開で点滴
⑥	ハルトマンPH8 500mL		4 本	病棟在庫から1日4本	⑤終了後～ 側;Day1～3は1本340分 側;Day5～6は1本約6時間

【看護師注意事項】  
ダウノルビシンとハルトマンは混合しないようにルートの差し替えは慎重に行う

【医師注意事項】  
嘔気強い場合はイメンド追加が望ましい 1日目125mg 2～7日目80mg ⇒ 処方要  
2クール目以降は、ハルトマンPH8を省略することを考慮する。

月日	指示	★5日間	指示医	受け	監査	払い	払監	調製	調監	前確	実施
	①②③④⑤⑥ (4本) DAY1										
	②③④⑤⑥ (4本) DAY2										
	②③④⑤⑥ (4本) DAY3										
	②③ ⑥ (4本) DAY4										
	②③ ⑥ (4本) DAY5										